



ゆずり葉だより

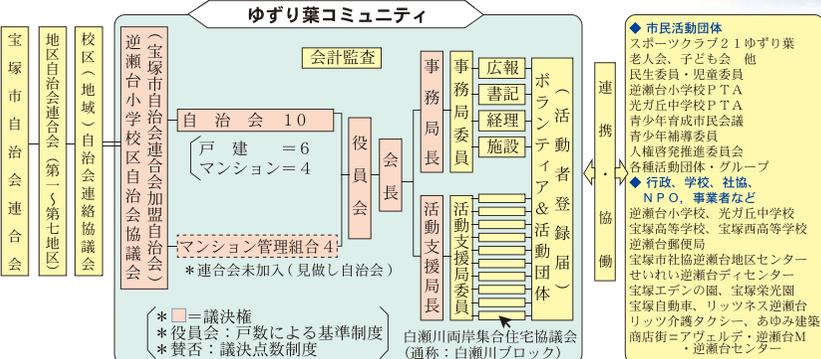
編集・発行/ゆずり葉コミュニティ 事務局・広報 (発行部数) 4,700部
 (住所) 〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内
 (Eメール) yuzurihacom@a.za.jp (連絡先) 中村 TEL.72-5644
 (掲示板) http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs (自由投稿版)
 (ブログ) http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230
 (ホームページ) http://yzrh.exblog.jp/ (TEL/FAX) 0797-73-8839

健康で
 明るく
 楽しい
 まちづくり



逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」の組織図

◆自治会を中核(合意形成の確立)とした組織づくり、各種団体との相互補完、連携・協働による組織の一元化と機能化を図っています。



■近年、少子高齢化や生活様式の多様化にともなって、地域や家族のあり方が変化し、社会的孤立、生活困窮や虐待など、公的福祉サービスの対象とならない「福祉の狭間」の問題が増加しています。こうした状況から、今年4月より生活困窮者自立支援法、子ども子育て新制度、介護保険制度の改正が行われるなど、福祉制度は大きな変革が求められる、地域福祉活動の活性も重要な課題となっています。

■私たちの校区にある「光が丘福祉活動委員会」は、平成2年に宝塚市社会福祉協議会から福祉活動推進事業のモデル地区の指定を受けました。

先進的福祉コミュニティの形成に向けて 白瀬川ブロックの地域とつながるマンション群の支え合い活動

また、「白瀬川ブロック」も宝塚市社会福祉協議会の「安心生活創造事業」のモデル地区の一つとして、住民向け合いの基盤づくりに向けた活動を行っています。この事業は、平成21年度から厚生労働省に選定され、宝塚市が実施するモデル事業になっています。

高齢者の見守りと買い物支援などの基盤支援を取り組み、先駆的な地域福祉を目指すのが、各自治会の福祉部などが様々な福祉活動に積極的に取り組んでいます。

■高齢者の居場所づくりの「サロン」を城内14箇所に設け、「校区ネットワーク会議」では事業者を含む福祉関係者間で情報共有を図っています。福祉を大切にしているコミュニティづくりには地域コミュニティの自立と結束が必要です。「ゆずり葉コミュニティ」では、域内の人と人とのつながり、住民相互の交流・信頼関係を深め、各種団体をタテ糸、自治会をヨコ糸として連携・協働し、組織の一元化と機能の強化を目指します。



白瀬川ブロックは、先進的福祉の実現に向け、ワークショップ形式で問題解決を図っています。

宝塚市の小学生を 行方不明問題から守りたい！

最近の奈良での小学生の少女の誘拐事件には、本当に肝を冷やしました。日本は、世界で10位以内に入る行方不明の多い国だそうです。その背景は人身売買・暴行事件であると言われていました。今年半年で20件を超える小学生の行方不明事件が発生しています。(インターネット「小学生の行方不明事件」参照)

そうした社会状況の中で、一連の事件に対し、社会全体が無関心過ぎると思つのです。

小学生の実態の一部を照会しましょう。先日、友達の家へ遊びに行つて、夕方6時前に3km以上離れた自宅に帰ろうとする小学校3年生の少女を見かけました。見るに見かねて車で家まで送り届けました。以前にも同じような事がありました。

昨年、神戸で5時半ごろに一人で歩いていた小学生の女の子が殺された事件があったのではないですか。10年ほど前に、栃木県・広島県・兵庫県・秋田県・奈良県において次々と小学生が殺された事件がありました。

私にはショックを受け、退職してすぐ、地域にもう小学生の下校姿を見なくなる時間帯に下校して帰宅する児童保育児童を安全に家まで送り届けるボランティア活動を始めました。9年続いています。西山小学校校区の一部と逆瀬台小学校校区全体を、毎日安全パトロールも行っていきます。そこで提案です。

学校応援団コーディネーター 徳高 宗雄

- ①下校時は、力を合わせ安全に帰宅できる集団下校を心掛けるよう学校で、家庭で指導する。
- ②夕方、一人つきりになる状況は避けるよう、各家庭で工夫する。どうして一人つきりになる状況から子供を守るボランティア活動グループを各自治会で組織することを考える。
- ③地域で、保護者の意識向上を図る学習会を開いたり、広報紙で広く伝える等の取り組みを行う。本当に心配なのです。皆さん力を合わせませんか。



【介護技術講習会】の案内
 主催・特別養護老人ホーム 宝塚栄光園
 兵庫県委託事業の一つとして講習会、体験実践と施設見学が開催されます。9月に開催された「移動・移乗介助のキホン」に続いて開催。

日時：11月26日(木) 13:50~15:50
 場所：宝塚栄光園1Fデイサービス内容「進化する「おむつ」を知つてみよう」をテーマに講座「おむつのキホン」と体験「実践おむつの介助」の後「宝塚栄光園施設見学」を開催。参加者25名定員、先着順(電話申込可)

電話：0797-711-1151

日時「ゆずり葉まつり」開催
 10月17日(土)
 午前11時~午後2時
 主催 逆瀬台小学校 ゆずりは会 ゆずり葉まつり部
 場所 逆瀬台小学校
 内容 子供コーラス、おみこし、お化け屋敷、各種ゲーム(ストラックアウト、わなげ、スリッパボール、ポテトシュー、紙ヒコウキ) 体験ブース(野球部、サッカー部、食品の販売、アイス、飲み物) おにぎり、パン、たこせん、グループ、唐揚げ、フランクフルト、綿菓子、育成会クッキー、野菜市場、100円バザー、



子どもたちを中心に地域住民との交流を図って、盛大に秋まつりを開催します。みなさま多数ご参加をお待ちしています。

光中だより



宝塚市立光方丘中学校
校長 古川 資治

平素は本校教育の推進にご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本校は昭和63年4月宝塚市立宝塚中学校より分離開校し、今年で28年目を迎えます。市内の12ある中学校の中では2番目に新しい学校ですが、創立30年近く経過し、学校の文化と伝統が醸成されつつあります。

本校の教育目標は「未来を担う、たくましく心豊かな人間を育てる」子供を生かすこと、感動のある学校の創造です。すべての教育機関の役割は「人を育て、社会を担う人」を育てることにあります。そこで、「社会で役割の果たすことのできる、自立した人を育てることを本校の使命と考え、日々教育に取り組んでいるところです。本年度の生徒数は、1年生142名、2年生177名、3年生147名、計466名です。学級は1年生4学級、2年生5学級、3年生4学級、特別支援学級4学級で市内では中規模の中学校です。

本校は、閑静な住宅と緑豊かな自然に囲まれた、海拔200mの丘の頂上にあり、大阪平野が一望できるすばらしい環境に恵まれた学校です。住宅街の高い場所に学校があるため、交通量の多い道路がなく、静かな環境と学校から見渡せる美しい宝塚の街並みは特筆すべきものがあります。そんな恵ま

れた環境の中で生徒は、明るく活発に学習や学校行事・部活動に励んでいます。反面、校区はアップダウンが激しく、学校まで遠い場合は1時間近くかかる生徒もおり、自然と足腰が鍛えられていますが、そのためかはわかりませんが、市内の駅伝大会では、男子は4連覇するなど、輝かしい成績を収めています。

◆校章の由来◆



四つのは、学校の教育目標を達成するための基本方針であります。知性（からだ）の一体化（からだ）の育成を表現します。また、この拡がりをもった円は、教職員を核にして、学年の振興とともに成長発達する子供らの未来への拡がりや光のイメージでシンプルに表現したものです。

◆ロゴマークの由来◆



教育目標を、伸びゆく生徒の姿で表し、光方丘中学校の「光」の文字をデザイン化したものです。また、未来の輝く星をもシンボライズしてあります。

◆部活動・トライやるウィーク・修学旅行◆



部活動は運動部が野球部、サッカー部、陸上競技部、男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、男子バスケット

ボール部、女子バスケットボール部、文化部が吹奏楽部、美術部、理科部、放送部とあり、ほとんどの生徒が参加し熱心に練習に励んでいます。

1学期の大きな行事としては、2年生が5月25日(月)～29日(金)までトライやるウィークがあります。市内の55の事業所にお世話になり、貴重な体験をすることができ、3年生は6月2日(火)～4日(木)まで、沖繩に修学旅行に行きます。

沖繩では、ガマ戦火の中、沖繩の人々が避難生活を送った自然にできた地下の洞窟「やひめゆりの塔」の見学、沖繩平和祈念館で戦争体験を伺ったりするなど、戦争と平和について学び考える機会となりました。戦争体験のお話を伺ったあとは、「平和宣言」と「大地讃頌(だいじさんしょ)」の合唱を披露しました。



2日目は、うるま市でグループに分かれて民泊を体験しました。三線を

◆光中平和宣言◆

平成27年(2015年)6月4日 沖繩にて

僕たちはここ、沖繩に来る前にいくつかのことを学んでからきました。戦争があったこと、戦争の中で日本はアメリカや他の国々と戦争をし、この美しい沖繩が激戦地になったこと。その結果、沖繩の人々が厳しい生活を強いられたこと。これらの歴史を教科書や資料で学びました。

今、実際に沖繩の地で学ぶことで、教科書を読むだけではわからなかった「戦争の悲惨さ」と「平和が宝」ということの重みを改めて実感しています。戦争のことを知ると、自分達の今の生活がとても平和だと感じます。友達

がいて、普通に学校に行つて、勉強して、遊んで、ご飯もたくさん食べられる。そんな当たり前の日々が決して当たり前でないことを知りました。たくさんの方が戦争で犠牲となりましたが、今の時代を生か抜いた人がいるから、今の私たちの命があります。戦争は、愛する故郷、家族、思い出、大切な人などがえのないものを壊し、失わせるものです。人の命を奪うだけでなく、人の心も奪ってしまう恐れを持っています。戦争を起しているのは、他でもない人間です。でも、平和を創っていくのもまた人間

です。戦争のない平和は人間の手によって創られていくのだというのを忘れてはいけません。今までもより強く実感しています。



沖繩に来て、自分が今、見聞きし、感じ、学んだ戦争をこれからは僕たちが伝えていかなければいけません。今の気持ち、大切にして、戦時中の県知事であった島田さんのような誠実さをもつて行動しようと思ひます。

今の自分たちができること。悲惨な戦争を二度と起こさないようにするために、まだ一人でも大きなことをすることはできないけど、日頃から身近な問題に対してしっかりと考え、行動していくことが大切だと思ひます。友達を大切に、馬鹿にしたり、いじめたりせず、お互いの良いところを見つけて、「共に」過ごす時間を大切にしていきたいです。

日本の歴史はもちろん、世界の歴史を知ることも、毎日の社会で起きた出来事を正しく知ることが心げけます。そして、自分なりに考え、意見をしっかりと持ち行動していきたいと思います。争いを避けるため、感謝の言葉、常に謙虚であることも私たちにできることだと思ひます。



トライやるウィーク発表会



修学旅行 うるま市



修学旅行 ガマ



トライやるウィーク



修学旅行 バナナボート



トライやるウィーク発表会



修学旅行 百里城



修学旅行 美ら海水族館